

製品名: ULBP1 (3U10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19619**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------|
| 希釈倍率 | FC 1:50-1:100 |
| 分子量 | 28kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | ULBP1 |
| 別名 | Alcan beta; N2DL1; NKG2DL1; RAET1I; UL16; UL16 binding protein 1; ULBP1; |
| 遺伝子 ID | 80329.0 |
| SwissProt ID | Q9BZM6 |
| 免疫原 | ヒト ULBP1 の組み換えタンパク質 |

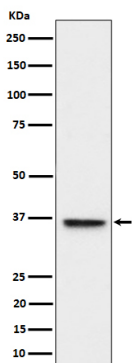
背景

NKG2D 受容体のリガンドであり、少なくとも ULBP2 および ULBP3 と共存する。ULBP は初代 NK 細胞において複数のシグナル伝達経路を活性化し、サイトカインおよびケモカインの産生をもたらす。ULBP リガンドが NKG2D に結合すると、カルシウム動員と JAK2、STAT5、ERK、および PI3K キナーゼ/Akt シグナル伝達経路の活性化が誘導される。KLRK1/NKG2D 受容体に結合して活性化し、ナチュラルキラー細胞の細胞傷害活性を媒介する。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の ULBP1 発現のウェスタン プロット分析。